

臨床疫学研究室

室長 三田英治

臨床疫学研究室は主に消化器疾患の特徴を分子疫学面から検証し、最適な治療方法や安全性を検討しています。代表的な研究内容を示します。

C型肝炎に関しては、ペグインターフェロン・リバビリン併用療法で治療効果を規定した IL-28B の SNP が引き続きインターフェロンフリー治療でも重要な意味を持つかを検討しています。また心機能低下や腎機能低下症例に対する抗 HCV 療法の安全性を調査しています。HIV 感染合併例でのインターフェロンフリー治療の成績もまとめており、抗レトロウイルス治療との薬物相互作用も検討しています。

次に B 型肝炎では、核酸アナログの長期投与成績から導かれる耐性化の問題点を検討しています。そして、そして、ラミブジン・アデホビル併用療法効果不良例に対し、アデホビルを TDF に切り替えることの有効性と安全性を明らかにしました。現在はさらに TDF から TAF への切り替えを検証しています。近年散発的に発生している B 型急性肝炎では genotype A が大半を占めますが、その特徴を解析し、慢性化への関与についても検討しています。

【2016 年度 研究発表業績】

A-0

Yoshio T, Tomida H, Iwasaki R, Horiuchi Y, Omae M, Ishiyama A, Hirasawa T, Yamamoto Y, Tsuchida T, Fujisaki J, Yamada T, Mita E, Ninomiya T, Michitaka K, Igarashi M: Effect of direct oral anticoagulants on the risk of delayed bleeding after gastric endoscopic submucosal dissection. 「Dig Endosc.」 2017 年 3 月

Morishita N, Hiramatsu N, Oze T, Urabe A, Tahata Y, Yamada R, Yakushijin T, Hosui A, Iio S, Yamada A, Hagiwara H, Mita E, Yamada Y, Ito T, Inada M, Katayama K, Yabuuchi I, Imai Y, Hikita H, Sakamori R, Yoshida Y, Tatsumi T, Hayashi N, Takehara T : Ultra-deep sequencing analysis of resistance-associated variants during retreatment with simeprevir-based triple therapy after failure of telaprevir-based triple therapy in patients with genotype 1 hepatitis C virus infection. 「Hepatol Res.」 2016 年 9 月

Nishida N, Ohashi J, Khor SS, Sugiyama M, Tsuchiura T, Sawai H, Hino K, Honda M, Kaneko S, Yatsuhashi H, Yokosuka O, Koike K, Kurosaki M, Izumi N, Korenaga M, Kang JH, Tanaka E, Taketomi A, Eguchi Y, Sakamoto N, Yamamoto K, Tamori A, Sakaida I, Hige S, Itoh Y, Mochida S, Mita E, Takikawa Y, Ide T, Hiasa Y, Kojima H, Yamamoto K, Nakamura M, Saji H, Sasazuki T, Kanto T, Tokunaga K, Mizokami M : Understanding of HLA-conferred susceptibility to chronic hepatitis B infection requires HLA genotyping-based association analysis. 「Sci Rep.」 2016 年 4 月 19 日

A-2

三田英治: HIV 重複感染例「最新・C型肝炎経口薬治療マニュアル(伊藤義人、中島淳 監修)」 P. 58-59、診断と治療社、2016 年 4 月

A-3

木村圭一、岩崎哲也、山田拓哉、岩崎竜一郎、榊原祐子、中水流正一、石田 永、山口真二郎、尾下正秀、三田英治：イレウス管併用ダブルバルーン小腸内視鏡により治療した食餌性イレウスの1例「Gastroenterological Endoscopy」58(9)：P1420-1425、2016年9月20日

A-4

中水流正一、福富啓祐、三田英治、笠原彰紀：吐血（総説）「日本病院総合診療医学会雑誌」11(2)：P.69-71、2016年12月

石田 永、三田英治：HIV/HBV 重複感染例における治療上の留意点「化学療法の領域」32(5)：P.57-65、医薬ジャーナル社、2016年5月

三田英治：HIV 重複感染 C 型肝炎の治療「臨床消化器内科」31(11)：P. 1511-1515、日本メディカルセンター、2016年10月

B-2

Nakazuru S, Nakamori S, Kato S, Shoji A, Kiyota R, Shinkai K, Tashiro T, Nakagawa K, Ishida H, Mita E：Optimal indications for chemotherapy in elderly patients with unresectable pancreatic cancer. 2017 Gastrointestinal Cancers Symposium, San Francisco, USA, 2017年1月20日

Nakagawa K, Yamada T, Kato S, Shoji A, Kiyota R, Shinkai K, Tashiro T, Iwasaki T, Ishihara A, Nishio K, Hasegawa H, Sakakibara Y, Nakazuru S, Ishida H, Mita E：Clinical features of esophageal ulcers in HIV-positive patients. UEG week 2016, Vienna, Austria, 2016年10月19日

Nakagawa K, Yamada T, Kato S, Shoji A, Kiyota R, Shinkai K, Tashiro T, Iwasaki T, Ishihara A, Nishio K, Hasegawa H, Sakakibara Y, Nakazuru S, Ishida H, Mita E：Clinical features of esophageal ulcers in HIV-positive patients. APDW 2016, Kobe, Japan, 2016年11月5日

Tashiro T, Ishida H, Shoji A, Kato S, Shinkai K, Kiyota R, Nakagawa K, Ishihara A, Iwasaki T, Hasegawa H, Nishio K, Yamada T, Sakakibara Y, Nakazuru S, Kiso S, Mita E：Changes of Left Ventricular Ejection Fractions during Sofosbuvir-based Anti-HCV therapy. ACG 2016, Nevada, America, 2016年10月16日

B-3

三田英治、石原朗雄、石田 永：当院における B 型急性肝炎の現況—特に HIV との重複感染例の特徴—。第 41 回 日本肝臓学会東部会、東京、2016年12月8日

B-4

卜部彩子、平松直樹、小瀬嗣子、田畑優貴、森下直紀、山田涼子、薬師神崇行、三田英治、萩原秀紀、山田幸則、伊藤敏文、肱岡泰三、稲田正巳、片山和宏、田村信司、今井康陽、竹原徹郎：ヘモグロビン低値の C 型慢性肝炎に対するシメプレビル/ペグインターフェロン/リバビリン併用療法におけるリバビリン減量投与の治療効果について—多施設共同研究—。第 102 回 日本消化器病学会総会、東京、2016年4月23日

瀧川貴生、阪森亮太郎、巽 智秀、薬師神崇行、平松直樹、糸瀬一陽、萩原秀紀、法水 淳、吉原治正、松本健吾、内藤雅文、伊藤敏文、大川和良、片山和宏、今井康陽、西尾久美子、石田 永、三田英治、竹原徹郎：経皮的ラジオ波焼灼療法を施行した初発肝細胞癌の予後、再発に寄与する因子—多施設共同研究。第 52 回 日本肝臓学会総会、千葉、2016 年 5 月 19 日

森下直紀、平松直樹、小瀬嗣子、薬師神崇行、山田涼子、田畑優貴、卜部彩子、宮城琢也、法水 淳、飯尾禎元、山田 晃、三田英治、稲田正己、田村信司、今井康陽、疋田隼人、阪森亮太郎、吉田雄一、巽 智秀、林 紀夫、竹原徹郎：C 型慢性肝炎におけるダクラタスビル・アスナプレビル併用療法治療成績ならびに薬剤耐性変異の解析。第 52 回 日本肝臓学会総会、千葉、2016 年 5 月 20 日

田畑優貴、平松直樹、小瀬嗣子、卜部彩子、森下直紀、山田涼子、薬師神崇行、土井喜宣、尾下正秀、金子 晃、三田英治、脇岡泰三、片山和宏、井上敦雄、今井康陽、疋田隼人、阪森亮太郎、吉田雄一、巽 智秀、林 紀夫、竹原徹郎：Genotype 1 型 C 型慢性肝疾患に対する Ledipasvir/Sofosbuvir 療法の有用性と安全性について。第 52 回 日本肝臓学会総会、千葉、2016 年 5 月 19 日

卜部彩子、平松直樹、小瀬嗣子、薬師神崇行、山田涼子、森下直紀、田畑優貴、宮城琢也、法水 淳、金子 晃、萩原秀紀、三田英治、山田幸則、伊藤敏文、田村信司、今井康陽、疋田隼人、阪森亮太郎、吉田雄一、巽 智秀、林 紀夫、竹原徹郎：Genotype 2 型 C 型慢性肝疾患に対する Sofosbuvir/Ribavirin 併用療法の治療効果および安全性について。第 52 回 日本肝臓学会総会、千葉、2016 年 5 月 19 日

卜部彩子、平松直樹、小瀬嗣子、薬師神崇行、山田涼子、森下直紀、田畑優貴、尾下正秀、金子 晃、三田英治、辻井正彦、永瀬寿彦、福井弘幸、竹田 晃、鈴木都男、井上敦雄、今井康陽、吉田雄一、巽 智秀、竹原徹郎：NASH 症例における肝線維化進展に関連する因子および長期予後についての検討。第 52 回 日本肝臓学会総会、千葉、2016 年 5 月 19 日

森下直紀、平松直樹、小瀬嗣子、卜部彩子、田畑優貴、山田涼子、薬師神崇行、法水 淳、飯尾禎元、三田英治、田村信司、今井康陽、疋田隼人、巽 智秀、林 紀夫、竹原徹郎：ダクラタスビル・アスナプレビル併用療法における薬剤耐性変異が及ぼす治療効果への影響について。第 20 回 日本肝臓学会大会、神戸、2016 年 11 月 3-4 日

瀧川貴生、阪森亮太郎、巽 智秀、薬師神崇行、氣賀澤斉史、古田訓丸、糸瀬一陽、萩原秀紀、法水 淳、吉原治正、内藤雅文、伊藤敏文、今井康陽、西尾公美子、三田英治、大川和良、片山和宏、平松直樹、竹原徹郎：腫瘍系 2cm 以下・乏血性の初発肝細胞癌に対するラジオ波焼灼療法後の再発、予後に寄与する因子の多施設共同研究。第 20 回 日本肝臓学会大会、神戸、2016 年 11 月 3-4 日

卜部彩子、平松直樹、小瀬嗣子、薬師神崇行、山田涼子、森下直紀、田畑優貴、法水 淳、宮城琢也、金子 晃、萩原秀紀、三田英治、山田幸則、伊藤敏文、今井康陽、疋田隼人、阪森亮太郎、巽 智秀、林 紀夫、竹原徹郎：Genotype 2 型 C 型慢性肝疾患の special population に対する Sofosbuvir/Ribavirin 併用療法の有効性—多施設共同研究—。第 20 回 日本肝臓学会大

会、神戸、2016年11月3-4日

加藤聖也、庄司絢香、清田良介、新海数馬、田代 拓、中川健太郎、石原朗雄、岩崎哲也、西尾公美子、長谷川裕子、榊原祐子、山田拓哉、中水流正一、石田 永、三田英治：C型慢性肝疾患に対するソホスブビル/レジパスビル併用療法における左室駆出率に対する検討。第70回国立病院総合医学会、沖縄県宜野湾市、2016年11月12日

石原朗雄、石田 永、西尾公美子、三田英治：肝細胞癌に対する初回RFA後の肝内異所性再発に寄与する因子の検討。日本消化器病学会近畿支部第105回例会、大阪、2016年9月17日

B-6

東 瀬菜、清田良介、石田 永、榊原祐子、山田拓哉、中水流正一、佐木山裕史、山本司郎、橋川一雄、三田英治：C型肝硬変の経過観察中に発症した弧発性クロイツフェルト・ヤコブ病の一例。第213回日本内科学会近畿地方会、大阪、2016年9月24日

田代 拓、石原朗雄、加藤聖也、庄司絢香、新海数馬、清田良介、中川健太郎、岩崎哲也、長谷川裕子、西尾公美子、山田拓哉、榊原祐子、中水流正一、石田 永、三田英治：C型慢性肝炎の経過観察目的に当院紹介となった一例。第1回Osaka Resident Forum、大阪、2016年6月11日

B-8

三田英治：B型肝炎診療～最新の潮流～。熊本B型慢性肝疾患セミナー、熊本、2016年4月13日

三田英治：大阪医療センターにおけるムルプレタ®の使用経験。大阪ムルプレタ®錠発売記念講演会、大阪、2016年9月3日

三田英治：発癌予防を見据えたB型肝炎治療。第6回浜松リバーサミット、浜松、2016年9月24日

三田英治：C型肝炎の最新の潮流。大阪市中央区東医師会学術講習会、大阪、2016年9月28日

三田英治：知っておきたいウイルス性肝炎治療の話題。第45回上町台リバーカンファレンス、大阪、2016年12月1日

三田英治：肝炎診療の最新の話題。城東区医師会 法円坂フォーラム、大阪、2017年3月11日